

令和7年度 学校関係者評価実施用紙（まとめ用）

学校番号	77	学校名	浜松大平台高等学校(全日制)	記載者	左口 邦彦
------	----	-----	----------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	1年次から高い志の育成や体系的なキャリア教育を推進し、進路希望の実現を図る。	「将来に対する夢や希望を持っている」 75%以上 R7:74.2% R6:70% R5:75% R4:72%	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「将来に対する夢や希望を持っている」と回答した生徒は74.2%と目標にはわずかに届かなかったが、昨年の70%からは大きく回復している。進路ガイダンスや科目選択等の取組が進路意識の向上に一定の成果を上げていると評価できる。 ・「持っている」と回答した以外の生徒を、いかに「夢や希望」へと導くかが問われているとも感じた。 ・今後も引き続き、考える機会となる場をより多く子どもたちに作ってあげて欲しい。 ・大平台高校の特色である科目選択をするにあたって、自身の進路について日々考える機会となっていることが、成果につながっている。ぜひ肯定感につながる選択をしてほしい。
		各系列で地域・大学・企業等と連携した活動をする。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・紫黒米プロジェクトなど具体的な成果が上がり、生徒の自信にもつながっていると推察する。社会に関わっていく学びの機会を、これからも積極的に設けてほしい。 ・紫黒米やバナナなど、ただ地域と企業とつながるだけでなく、各系列とのつながりもあり、学びが深まったと感じた。
		「自分にはよいところがある」80%以上 R7:84.7% R6:82% R5:82% R4:81%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・評価に異論はないが、「自分にはよいところがある」という気づきを促すための課題としてはどのようなことがあると考えているのか知りたい。

		<p>「ボランティア活動をしたことがある」 30%以上 R7:30.9% R6:33% R5:35% R4:29%</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・自主的なボランティア活動につながるような働き掛け、意識付けは行われているのか知りたい。 ・自らが科目選択することで、自分の長所を考える機会となっていると思う。自己肯定感が年々高まっているところからも取り組みの成果が感じられる。
		<p>「自分の希望する進路が実現できた」(3年次生のみ) 80%以上 R7:90.2% R6:93% R5:92% R4:88%</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「面接指導を担当したすべての生徒が無事合格することができた」とあるが、「希望する進路を実現できなかった」という場合はいずれも「面接指導に至らなかった」という理解でよいのか知りたい。 ・自分の希望の進路が実現できなかった子どもには、どのような支援がされているのか知りたい。
イ	<p>基礎学力の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を高める。</p>	<p>到達度テスト正答率 60%以上 3教科正答率 到達度テスト R7:1年次 55.1% 2年次 54.2% 3年次 54.4% R6:1年 55% 2年 56% 3年 52% R5:1年 63% 2年 63% 3年 62% R4:1年 55% 2年 54% 3年 54% 「授業がわかる」75%以上 R7:84.7% R6:88% R5:80% R4:86%</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・国語では到達度テスト正答率60%以上を達成し、授業改善の成果が見られる一方、全教科平均では目標未達が続いている。単元を貫く問いや小テスト、ICT活用により「授業がわかる」は高水準を維持しており、今後は基礎学力の定着を全教科に波及させる取組の一層の充実が求められる。 ・「授業がわかる」生徒の割合が80%を超えていることを考えると、到達度テストの正答率をさらに高める余地は十分にあるように思った。 ・「授業がわかる」の目標値が75%となっているが、達成状況が80%以上あるのだから、目標を上げてもいいのではないかと感じる。 ・R5年度に比べて、到達度が低くなっているのが課題だと感じた。選択科目の充実と並行しての基礎学力の定着は難しいと思うが、がんばってほしい。

様式第 5 号

ウ	<p>文章に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。</p>	<p>「朝読書をとおして、読書に親しんだ」70%以上 →朝読書の時間に読んだ本の数、年間5冊以上の生徒 <u>R7:25.1%</u></p> <p>「図書委員・先生方のおすすめの本」を定期的に発行(サイネージで周知)</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の利用状況、図書委員の活動状況についても教えてほしい。 ・成果目標が不明確。何ををもって読書に親しんだとするのか。達成状況の読んだ本の冊数としているのか、本の紹介タブレット配信数なのか、目標の評価方法を明確にした方が良いと思う。 ・少しでも本に親しめているのであればよいと思う。
エ	<p>授業や学校行事などにおいて、他者と協働して意見交換する機会を多く設ける。</p>	<p>「他者の意見を聞き、自分の考えを深めることができた」80%以上 <u>R7:90.0%</u> R6:86% R5:86% R4:87%</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を大きく上回り、過年度と比べても着実な向上が見られる。対話を重視した授業や問題演習を通じて、多様な考えに触れながら思考を深める学習が定着しており、主体的・協働的な学びが効果的に機能していると評価できる。 ・%の根拠が分からず、評価を保留とした。生徒に対するアンケート(生徒の実感)に基づく数値なのか、学校側として、客観的にそれを裏付ける(補強する)ような材料、具体例があるのか知りたい。 ・発表の機会を設けることで成果が出ていると感じる。発表し、認められる経験が大切だと思う。
		<p>「自分の考えをわかりやすく伝えることができるように努力した」80%以上 <u>R7:70.9%</u> R6:70% R5:75% R4:73%</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の80%には届いていないものの、前年度とほぼ同水準を維持している。発表やプレゼンテーションの機会は確保されており、今後は段階的な指導を通して、伝える力の定着と向上を一層図ることが求められる。 ・前項目と達成状況に20%もの開きがあるのがなぜなのか気になった。 ・社会に出て仕事をする上でとても大切なことだと思うので、今以上に機会を多くもたせて欲しい。

オ	保護者や地域から信頼される学校づくりに努める。	<p>Instagram・HPへの地域貢献活動の掲載・更新、掲載記事 60 件 <u>R7:インスタ掲載 155 件</u> <u>HP更新 26 回</u></p> <p>P T A 広報誌「桑の木だより」の年 2 回発行、内容の充実 (R7・R6・R5・R4・R3:年 2 回発行)</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「HP とインスタの活用で、ある程度効果があった」とあるが、ある程度とはどの程度か、また、どのような効果があったのか知りたい。
		<p>一日体験入学、文化祭への来訪者の増加 昨年度比 10%増 <u>R7:体験入学 689 人</u> <u>(1 日間開催)、猿投祭 1254 人、総数 1943 人</u> <u>前年度比 9%増</u></p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、体験入学が実際の受験、入学にどのくらい結び付いているのかについて、何らかの分析は行われているのか知りたい。 ・今後も学校の紹介など、発信していけると良いと思う。 ・いろいろな場面での発信が生き、知名度が高くなっているのではないか。外部へアピールする努力が感じられた。
		<p>「信頼できる先生がいる」75%以上 <u>R7:80.1%</u> R6:80% R5:75% R4:76%</p> <p>「わが子をこの学校に入れてよかった」95%以上 <u>R7:94.3%</u> R6:93% R5:92% R4:95%</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「信頼できる先生がいる」は 80.1%と目標を上回り、過年度と比べても安定して高い水準を維持している。継続的な生徒理解や丁寧な関わりが成果として表れており、今後も相談しやすい環境づくりを通して、生徒の安心感と学校への信頼を一層高めていくことが期待される。 ・「わが子をこの学校に入れてよかった」と感じる保護者の方々は、具体的にどのような理由でそう感じているのか知りたい。 ・目標値の 75%以上はもっと高くしてほしい。 ・成果目標の「わが子をこの学校に入れてよかった」は、「子どもがこの学校に入ってよかった」のほうがよいのではないか。親によかったか聞くのはいいが、目標にすべきではない。子どもがよいと思えば必然的に親もよかったと思うと感じる。

様式第5号

					<ul style="list-style-type: none"> ・成果と課題に、「地域、保護者、生徒からの要望に対して学校として真摯に対応した」とあるが、当たり前のことだと思う。 ・保護者からの信頼が高いことから、子供に対する先生方の努力が伝わっていると伺える。
		<p>「近所の人や知り合いの人に挨拶している」90%以上 <u>R7:89.8%</u> R6:91% R5:93% R4:91%</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・目標にわずかに届かなかったものの、高い水準を維持している。 ・根気よく生徒に働きかけていただけたらと思う。 ・社会に出て挨拶をなさいと教育してもなかなか身につかない。挨拶を是非、習慣化していただきたい。
カ	個性の伸長をはかり自主的・実践的態度や望ましい人間関係を形成する力を養う。	<p>「学校行事・委員会活動・部活動等を通して責任感・協調性が育まれた」85%以上 <u>R7:92.8%</u> R6:94% R5:93% R4:89%</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実感（アンケート）に基づく達成率と推察するが、数値を客観的に裏付けるような具体例があれば知りたい。
		<p>「部活動は活発で充実した活動を行っている」80%以上 <u>R7:88.4%</u> R6:86% R5:86% R4:84%</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の加入率はどのくらいなのか知りたい。
キ	生徒が安心して学校生活を送れる環境整備を行う。	<p>「心の健康調査」「いじめアンケート」を活用した悩みを持っている生徒の早期発見 歯科及び視力治療率80%以上 R7 歯 32%・視 34% R6 歯 34%・視 35% R5 歯 80%・視 82% R4 歯 85%・視 75%</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめや悩みの早期発見は、実際に解決にまでつながっているのか知りたい。 ・成果目標が悩みをもっている生徒の早期発見ではなく、早期対応している成果を示してほしい。 ・歯科及び治療率が令和6年度から急激に落ちているが、評価方法が変わったのか知りたい。
		<p>体験型避難訓練の実施 <u>R7・R6・R5:実施</u> R4・R3・R2:未実施</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ地震臨時情報が発表された場合に学校としてどう対応するか、生徒にどう働きかけるかについて検討がなされているのか知りたい。

様式第 5 号

		<p>災害時の留め置き用 装備品の完備と防災 用具の取扱研修の実 施 <u>R7 実施</u> R6 まで毎年実施</p>			
		<p>安全点検を年 2 回以 上実施 <u>R7: 2 回実施</u> R6 まで毎年 2 回実施</p> <p>スピーディな修繕に より事故ゼロ <u>R7: 事故 0 件</u> R6・R5・R4・R3: 事故 0 件</p>	B	A	<p>・目標を達成しているのに評価 を B にとどめたのはなぜか知 りたい。 ・安全点検はどのように行われ ているのか分からないが、学校 には県や国から決められた安 全点検の回数や決まりはない のか知りたい。</p>
ク	<p>教育活動が行われる ための環境を整える とともに、業務改善に より職員の多忙化を 解消する。</p>	<p>光熱水費の節約を教 職員に呼びかける。 節約した予算を教育 活動に振り分ける。</p>	A	A	<p>・引き続きご尽力ください。 ・教育活動に使う為に会費を払 っているのだから、可能なもの は PTA 会費を使用してもいいの ではないか。</p>
		<p>定時退勤日(毎週水 曜日)の設定</p> <p>部活動の週 1 日以上 の休日設定</p> <p>ペーパーレスに取り 組む</p>	B	B	<p>・定時退勤日の設定が学期中に 実施できなかった点は課題で ある。部活動の使用調整等によ り一律の実施が難しい状況は 理解できるが、業務の見直しや 学年・分掌単位での部分的導入 など、実情に応じた工夫を重ね ることで、教職員の働き方改革 を着実に進めていく必要がある。 ・教職員の皆さんが健康、健全 でいなければ学校は成り立た ない。教職員にとっても魅力あ る学校であってほしいと思う。 ・部活や会議、授業の準備等、 先生方の業務は多忙な日々を 送っていると思う。個々の努力 だけでは難しいと思うので、全 体での取り組みに期待したい。</p>